



みんなが

住んで良かったといえる

伊豆の国市を

日本共産党

伊豆の国市議会議員

た な か ま さ お

田中正男

プロフィール

- 1953年 葦山町中高原に生まれる(67歳)
- 1972年 県立田方農業高等学校卒業 日本共産党に入党
- 1973年 農業専門学校卒業後、農業(酪農)に従事  
青年団、消防団、農協青年部で活動
- 1984年、1996年 消防分団長
- 1991年 高原プラスチック創業
- 1998年、2015年、2019年 高原区長
- 2003年 葦山町議会議員に当選
- 2005年～ 伊豆の国市議会議員(4期16年)
- 現在：市議会議員(4期目)  
副議長 福祉文教経済委員



あけぼの

2021年3月号外

発行：日本共産党伊豆の国市委員会  
 田中正男 Tel/Fax 055-944-0354  
 三好陽子 Tel/Fax 0558-76-6686  
 高橋公一 Tel/Fax 055-947-0718

日本共産党伊豆の国市委員会は次の見解を発表しました

田中正男の政策

「大河ドラマ館」にムダ使いするのではなく  
 高齢者温泉施設、タクシー券  
 がん検診など  
 後退した保健・福祉施策を  
 元どおりに

…「かわまちづくり」「大河ドラマ館」に多額の税金を使い、「介護予防事業」や地域要望など身近な市民サービス・保健・福祉を削るのでは、「誰のための市政か」と批判の声が高まるのは当然です。  
 高齢者サービスの後退を元に戻し、がん検診の無料復活で、受診率の向上をはかります。

高すぎる国保税  
 さらに引下げを

…令和1年度から一部引き下げられましたが、まだまだ負担が重く、市の一般会計からの繰り入れや国の公費負担拡大が必要です。「均等(人数)割」を廃止し、サラリーマンの健康保険並みに引き下げを。

介護難民をつくらない  
 待機者解消、軽度の人も  
 必要なサービスが受けられるように

…保険料、利用料負担は倍額、要支援を給付対象から外すなど「保険あって介護なし」といわれる実態です。負担軽減、特養などの増設と在宅介護の拡充・改善が必要です

子育てしやすいまちへ  
 さらに全力

…子ども医療費助成を町議の時から一貫してとりあげ、ついに高校卒業まで無料化が実現。

学童保育は条件付きでなく6年生まで希望者全員の受け入れ、学童指導員の待遇改善を。

0歳児保育の実施を。

幼稚園授業料、保育料の給食費を含め、完全無料化を。

就学援助、ひとり親家庭への支援の強化、地域の子育てサポート体制の整備



台風被害の防災対策は  
 まったなし

…床上浸水や農業被害が毎年のように頻繁化、内水・支川整備をまったなしです。排水、浸水対策の強化を。

鳥獣被害から農産物を守り、  
 営農意欲維持へ対策の強化を

…荒廃農地の解消、新規就農者支援、担い手後継者の育成、専門の農業振興公社の設立を

市内の自然・文化遺産、  
 農業・地元特産物と結んだ  
 循環型の観光振興

長岡地域に公共図書館を

「湯の町」が公共入浴施設つぶして  
 お風呂ひっぱく  
 なんてありえない